

第 53 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

1. 日 時:2012 年 11 月 13 日(火) 13 時 30 分～17 時 45 分
2. 場 所:日本機械学会 第4・5会議室
3. 出席者:青山(東大)、樺田(三菱重工)、茂田井(東電)、幅野(IHI)、原田(東芝)、逢澤(日立)、北村(関電)、飯田(東電)、水谷(東工大)、中村(中電)
代 理:なし
欠 席:山下(神鋼)、橋本(発電技検)、鈴木(日溶協)
オブザーバー:なし
事務局:海野(記)

4. 配付資料

- 53-1 . 第 52 回溶接分科会議事録(案)
- 53-2 . 溶接分科会委員名簿
- 53-3 . 第 61 回火力専門委員会議事録(案)
- 53-4 . 第 62 回規格委員会議事録(案)
- 53-5 . 発電用火力設備規格2012年版出版承認について
- 53-6 . SI 換算ルール調整状況報告
- 53-7 . ファイル共有システムの運用について
- 53-8 . 改訂時検討項目の整理
- 53-9 . 審議用レビュー票

5. 議事

(1) 前回議事録確認

[資料 53-1]

前回議事録(案)について確認を行った結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 53-2]

樺田委員の再任意向が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、樺田副主査の委員再任に伴い副主査の互選が行なわれ、出席委員全員の賛成により樺田委員が再任候補として次回火力専門委員会への推薦が承認された。新任候補、退任委員は対象なしであることが報告された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 53-3]

第 61 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 溶接分科会委員・役員の承認
- ・ 第 52 回溶接分科会報告
- ・ JESC本委員会審査結果と原子力安全・保安院電力安全課への活用要請文書報告

- ・ 高圧ガス保安協会開催委員会への委員派遣報告
- ・ ASME からの SI 値取り込みルールに関する調整状況報告
- ・ 次回改訂作業に向けた標準用語リスト, 次回改訂時の検討事項一覧について対応案を確認したことを報告

(3-2) 規格委員会報告

[資料 53-4]

第 62 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ ASMEからのSI値取り込みに関するルールの内規化に向けた書面投票を始めることが承認された。各専門委員会での書面投票を経て、規格委員会での書面投票可決により内規とすることとなった。
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-3) 発電用火力設備規格2012年版の出版承認について

[資料 53-5]

6 月に規格承認された 2012 年版の基本規定・詳細規定その1, その2についてJSME出版センターでの出版承認がなされたことを報告した。今後 12 月に出版予定。

(3-4) SI 換算ルール調整状況報告

[資料 53-6]

ASME からの SI 値換算ルールについて内規化することで進められており、規格委員会にて書面投票開始が承認されたことを報告した。今後各専門委員会での書面投票と規格委員会での書面投票を経て内規とされる予定。

(3-5) ファイル共有システム運用ルールについて

[資料 53-7]

10 月に導入されたファイル共有システムの運用ルールとして共通ルールが制定されているが、火力専門委員会および所属の分科会での運用に混乱をきたさないためのローカルルールが必要ではないかと事務局より提案した。本件については、各分科会との協調をはかりながら仮運用ルールを 11 月下旬から 12 月上旬に事務局より周知することとした。今後のスケジュールとして来年 2 月の各会にて運用ルールを取り決めることを目途とすることとした。

(4) 審議事項

(4-1) 改訂時検討項目の整理

[資料 53-8]

- ・ 基本規定の改訂作業およびJESC審議資料の作成分担・審議フロー案について審議を行った。今後の基本規定改訂作業およびJESC審議資料の作成・審議にあたっては審議フロー案に従い審議することとなった。
- ・ レビュー票において、基本規定への影響「あり」としたものについては、新たに基本規定の修正内容を記載することとした。
- ・ レビュー票および JESC 審議資料の記載例について確認された。

VI章

アーティクル2(原田委員)(審議対象:T-277.3~292, APPENDIX I, VIII, IX)

- ・ 「IQI」は「透過度計」に統一し、用語集に反映する。
- ・ デジタル放射線透過試験など新たに追加したもので、省令要求範囲に使用するニーズがあるものは、技術的に省令要求を満足するか確認を行う。
- ・ その他軽微な修正必要(変更区分の修正等)

アーティクル6(中村委員)(審議対象:T-610~693, APPENDIX I, II, III)

- ・ 軽微な修正必要(DOCUMENTATION の和訳, 変更区分の修正等)

VII章

アーティクル1(北村委員)(審議対象:QW-100~199.2)

- ・ 機械試験の代替として RT, UT で良いかについて技術的検討が必要
- ・ QW-153 の引張強さの最小値については「5. 許容引張応力表」の最小引張強さ欄に規定されていることを明記する。
- ・ QW-185 の拡散溶接(Diffusion Welding)の取り入れについて検討が必要。構造分科会からの検討依頼のあった拡散接合(Diffusion Bonding)との関連を確認
- ・ その他軽微な修正必要(変更区分の修正等)

APPENDIX I(北村委員)(審議対象:APPENDIX I)

- ・ 特に意見なし(レビュー票初版確定)

レビュー票について、その他意見がある場合には別途メールにて意見を提出することとした。

(5)その他

審議履歴表については、後日三役にて作成した後、メールにて各委員へ送付、確認することとした。

6. 次回開催予定

日 時: 2013 年 2 月 5 日(火)13:30~17:00

場 所: 日本機械学会 第 3,4 会議室

以 上